

2025 年第 1 回 IEEE 東京支部理事会 議事録（案）

日 時：2025 年 3 月 27 日（金）12:00～14:00

場 所：機械振興会館 6-67 会議室

出席者：平本 Chair、鈴木 Vice Chair、久本 Secretary、菅原 Treasurer

<以下 順不同>

木村 COC Chair、馬場 FNC Chair、平野 NC Chair、松本 TPC Chair、武田 C Secretary、
吉田 SAC Chair、河東 HC Secretary、浅井東京支部 Secretary Elect、林 LMAG Chair、小野
寺 YP Chair、野中 WIE Chair、奥村 Past Secretary、樋口 Past Treasurer、鈴木（麻）SIGHT
Chair、

オブザーバー

滝嶋 HTC2025 実行委員長・JC Vice Chair

事務局：加藤事務局員、福岡事務局員

幹事会社：千野、大鰐、木村（記）

（合計 24 名 現地参加：21 名 オンライン参加：3 名 欠席者 3 名）

議題：

東京支部理事会の実施方法と成立要件、Roberts Rule 説明

0. 東京支部の運営方法について

1. 前回理事会議事録の確認【審議】

2. 2025-26 東京支部理事会構成【審議】

3. 2024 年決算報告および監査報告

4. 2025 年活動計画および 2025 年予算

5. 2025 年中間会計報告

6. 2025 年総会資料【審議】

7. 委員会活動報告

7-1 Chapter Operations Committee

7-2 Fellow Nominations Committee

7-3 Membership Development Committee

7-4 Technical Program Committee

7-5 Publications Committee

7-6 Student Activities Committee

7-7 History Committee

7-8 Nominations Committee

- 8. Affinity Group 活動報告
 - 8-1 Life Members Affinity Group
 - 8-2 Young Professionals Affinity Group
 - 8-3 Women in Engineering
- 9. その他
 - 9-1 R10 Meeting 報告
 - 9-2 SIGHT 報告
 - 9-3 HTC2025 準備状況報告
 - 9-4 VICS2025 の対応状況報告

【議事 <審議・決定事項>】 ※各報告内容詳細については理事会資料をご参照下さい。

IEEE 東京支部平本 Chair より挨拶

議事 0. 東京支部理事会の実施方法と成立要件、Roberts Rule 説明

久本 Secretary より R10 矢野 Secretary 作成の資料に沿った説明があった。

理事会出席者数が過半数を超えたため、理事会の成立が宣言された。

IEEE 東京支部鈴木 Vice Chair より挨拶

東京支部の運営方針について 久本 Secretary より以下のとおり報告。

今後は以下の方法で運営を進めていくことが異議なしで承認された。

1. 定常的事務作業は原則 Committee/Group 等での対応とする。
 - ・会合日程調整
 - ・会議室予約（機械振興会館については、事務局でサポート）
 - ・リモート会議設定（対応できない Committee 等は、事務局でサポート）
 - ・イベントの開催準備（日程、場所等の設定）
 - ・打合せ議事録を Garoon にアップ
2. 事務局への依頼事項は 1 カ月前までに申請する。
3. 事務局への依頼連絡には必ず Secretary (secretary@ieee-jp.org) を CC に入れる。各コミ
ティには人数制限はないので、上記の運営方法につき、人手不足が問題となる場合には、人手
を増やして対応する。

各 Committee が記録用の Garoon のフォルダにアクセスできるよう、事務局側で設定確認す
ることを前提に、運営方法にかかる審議は異議なしで承認された。

議事 1. 前回理事会議事録の確認 久本 Secretary より報告。

前回理事会の議事録について以下 8 点について再確認の説明があり、異議なしで承認された。

- ① JC への代表理事は COC Chair を入れて、Chapter とのコラボレーションの強化を図る。
- ② 2024 年の代表的な活動で、SYWL 開催との併催で IEW を開催した。
- ③ 2024 年の予算は赤字決算で承認されている。詳細はこの後 Treasurer から説明がある。

- ④ 2025 年度の活動計画で主なものは2つ、1つは4月に VICS の開催。東京支部は JC と共同で参加する。
- ⑤ 2つ目は9月に HTC2025 の開催。
- ⑥ 2025 年の予算も赤字で予想を立てている。
- ⑦ 昨年の議論から、EA は YP に入っていたが、オブザーバーとして独立したグループにすべく進める。
- ⑧ 引継ぎ事項として、HTC,VICS を引き継いだ。これらの進捗については後ほど説明する。

議事 2. 2025-26 東京支部理事会構成 久本 Secretary より報告。

前回理事会より2点更新があり、異議なしで承認された。

○三菱電機の浅井様が JC/東京支部 Secretary Elect となる点

○SIGHT (Special Interest Group for Humanitarian Technology) と EA (Educational Activities) をオブザーバーとして理事会構成メンバーとして明記すること。

議事 3. 2024 年決算報告および監査報告 樋口 Past Treasurer より報告。

JC 同様、2025 年度より、IEEE 本部のキャッシュベースの会計報告に合わせ、すべての Committee もキャッシュベースでの報告とすることが確認された。

議事 4. 2025 年活動計画および 2025 年予算 久本 Secretary・菅原 Treasurer より報告。

2025 年の主な活動として、4月の VICS2025、9月の HTC2025 について報告があり、他支部との交流については SAC のこれまでの活動を参考に Seoul Section に限らず議論していくこととなった。

2025 年度の予算について、既に前回理事会で承認されていることが報告された。

議事 5. 2025 年中間会計報告 菅原 Treasurer より報告。

2025 年度から報告方法が活動ベースからキャッシュベースに変更になったことで、昨年度分の支払いが赤字になっている点につき報告があった。これに関連し、12 月以降の支払いについては1月末までに支払いが終了するよう活動計画を立てることが周知された。

議事 6. 2025 年総会資料 久本 Secretary より報告。

総会資料について報告があり、YP の活動報告内容を修正し、追加資料とすることで異議なしで承認された。

議事 7. 委員会活動報告 常設委員会活動報告

7-1. COC(Chapter Operations Committee) 木村 Chair より報告。

7-2. FNC(Fellow Nominations Committee) 馬場 Chair より報告。

7-3. MDC(Membership Development Committee) 久本 Secretary が代理で報告。

7-4. TPC(Technical Program Committee) 松本 Chair より報告。

7-5. PC(Publications Committee) 武田 Chair より報告。

7-6. SAC(Student Activities Committee) 吉田 Chair より報告。

Seoul Section との交流の紹介があった。過去に東京で開催された TOWERS に Seoul Section の学生を招待したことから交流が始まったが、最近は交わりがない。海外の他支部との交流を促進していくことの必要性に触れた意見もあった。

鈴木（麻）SIGHT Chair より交流促進へ向けて協力の申し出があった。これらを踏まえ久本 Secretary より海外の他支部との交流促進に向けた素案づくりを SAC と SIGHT へ協力依頼した。

7-7. HC(History Committee) 河東 Chair より報告。

Milestone の認定に関し、Bylaws にもあるが、東京支部の承認が必要になる。Milestone の認定の承認を急ぐ場合であっても、必要情報（費用支払いの確約、式典開催のサポート、銘板の設置場所（GPS 登録）など）を HC から東京支部長へ提供し、承認を得る。2 月末の案件について、久本 Secretary より次回理事会時に必要書類等のヒアリングを行うことの提案があった。また、現在 HC のホームページで掲載されている申請マニュアルについて e-Notice を利用して周知する。

7-8. (Nomination Committee) 平野 Chair より報告

2025 年度からの新しい選挙制度移行に向けた検討計画のキックオフについては異議なしで承認された。Election Committee Chair とメンバーの新設については、JC の Ad-hok 委員会のやり方に習い、メンバーには Past Chair と Past Secretary を入れる案が出された。選挙で決めるのは四役と常設委員も対象かどうかについては確認し、後日回答すると久本 Secretary より発言があった。【後日、選挙の対象については、平野 Chair が本部に確認し、支部役員の選挙であり、Committee 等は含まれないことを確認した。本件については第 2 回理事会で報告する】

議事 8. Affinity Group 活動報告

8-1. LMAG(Life Members Affinity Group) 林 Chair より報告。

8-2. YP(Young Professional Affinity Group) 小野寺 Chair より報告。

8-3. WIE(Women in Engineering) 野中 Chair より報告。

議事 9. その他

9-1. R10 Meeting 報告 鈴木 Vice Chair より報告。

9-2. SIGHT 報告 鈴木（麻）Chair より報告。

審議事項として R10 HTC2025 内で開催予定の R10 HTA (Humanitarian Technology Activity) Workshop への参加費 3 名分として、10 万円を追加予算申請があり、異議なく承認された。

9-3. HTC2025 準備状況報告 滝嶋 JC Vice Chair/HTC2025 実行委員長より報告。

準備状況の説明があり、理事には周囲への論文投稿や参加への奨励依頼があった。また、国際会議開催に関する一定以上の収益制約について質問があり、30%以上の努力目標はあるが、制約ではない旨について Chair より説明があった。

9-4. VICS2025 の対応状況報告 久本 Secretary より報告。

JC/東京支部ブースで PR したいものがある場合には 4/9 までに提出依頼があった。滝嶋 HTC2025 実行委員長より、HTC2025 のパンフレット挿入の依頼があった。

その他

○理事会で幹事会社制度についての議論について質問があり、久本 Secretary より今後議論する場を設けたいと回答があった。

○Garoon へのアクセス権について質問があり、事務局が個別に対応するとの回答があった。

以上